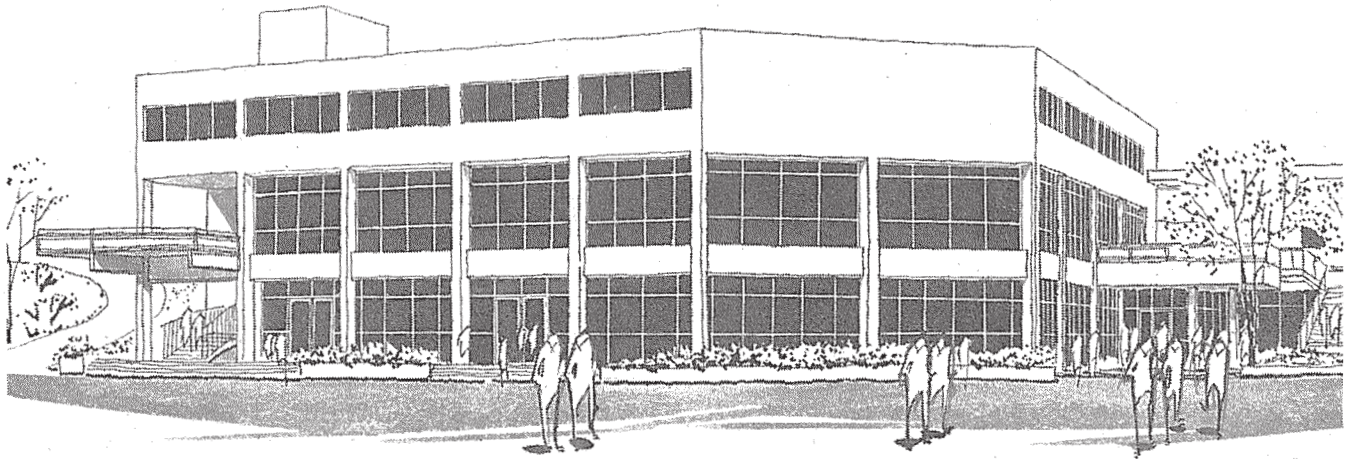


# 関西大学通信

## 来春3月末竣工めざして工事中 ——福利厚生施設の拡充整備——



長い夏休みも明けて登校し、さて昼食を…と思ったところが誠之館一号館南棟前では大工事が始まっているという事態に驚いた学生諸君も多いことであろう。

目下、千里山学舎における福利厚生施設の整備充実をはかるための増・改築工事が行われているのだ。

書籍店舗の拡充整備、食堂客席のゆとり、教科書販売臨時店舗、新学期用品販売臨時店舗、プレイガイドなどの吸収をも含み、総工費七億円にのぼる大がかりな工事である。

工事期間中の臨時代替措置は必要最小限にとどめ、少しでも恒常施設の改善に資金を投入しようという効率的な工事計画であるため、学生諸君には当座種々の不便を忍んで貰わねばならぬものと思われるが、来年三月末までのご辛抱と理解をお願いしたい。

もちろん関西大学生活協同組合諸事業部門は、工事期間中、休業を最短に抑えて営業を続けることになっている。ただし、食堂厨房の拡張・変更工事が行われる来年一月から三月末までの三カ月間だけは、やむなく本部食堂のみ休業となる。

また、臨時代替店舗を誠之館一号館二階談話室に仮設することになるため、談話室が一般使用できず、そこを課外活動発表の場として使用計画を立てていた諸君にも不便が及ぶことになるが、すでに「告示」でお知らせした趣意を充分に理解し、来年四月の〳新装再開〵を待つて貰いたい。むろん本工事完成の暁には、談話室ラウンジ本来の機能が回復される手筈になっている。

『関西大学通信』の本特集号は、現下の福利厚生施設の拡充整備の概要とその計画段階における経緯などを説明し、あわせて工事期間中の臨時措置等について周知をはかり理解を求めするために編集した。

イラストは誠之館一号館南棟の完成予想図である。増・改築により延べおよそ一五五〇平方メートルの増床となり、来春完成すると関西大学生活協同組合の営業による本部食堂、書籍部、購買部などが再開され、新しい姿を見せることになる。



本学の福利厚生施設の整備拡張工事が始まった。来年三月には完成の予定である。



学生部長 植松健郎

現在の施設は、昭和三十七年に建築され、五年後の昭和四十二年に増築工事が行われたものであった。この間に、学生数も増加し、学生、教職員の需要を十分に満たすことは困難になってきた。

が頭在化し、ここ数年にわたって学生部では他大学も調査し、適正な規模の施設を検討して来た。しかし、財政的理由によりその実現を見ることはなかった。今回、この整備拡張工事の実現をみるに至ったことはまことに喜ばしい限りである。

今回の整備拡張案策定の基礎は、食堂部分では客席をゆとりあるものとし、書庫部は、現有店舗の三倍以上に、購買部も書庫部とのバランスを考えて拡張し、利用者の便宜をはかり、また食堂客席部分の拡張に伴い、厨房の整備拡張を行うというものであった。抜本的整備改築という観点に立て

に耐える施設を取り壊し、新たに独立棟を建設することの不経済性と、莫大な費用が他の教学施設充実計画に支障をきたすという財政上の制約もあり、法人側との度重なる検討の結果、今回の増・改築案が実現した。

学園生活の充実、教学の充実が第一義であることはいまさらいうまでもない。しかし、福利厚生面の充実、課外活動面での充実も、学生諸君が授業以外のところで、友人や教職員と接し、さまざま

# 福利厚生施設の

## 拡充整備に寄せて

学生部長 植松健郎

西大学の規模に照して、現有の厚生施設を検討し、かねてよりその拡張を考えていた。現在の施設が完成された当初は、その規模において全国でも有数の厚生施設に数えられていたが、学生数の増加と、他大学でも次々と厚生施設の改善が実施されるに及んで、かつては全国的に誇り得た本学の施設も、色なきものとはいえず、今や遜色なきものはい

拡充工事である。二万人の学生を有する大学として、福利厚生施設を等閑にできないのは、常により良きものをめざしてという観点に基づいて立案の実現を果たそうとしている。物事の進捗は、すべて過程的である。過程の中から、さらにより良きものをめざすことが肝要である。

学生部において策定された原案は、総規模を六千平方メートルとし、独立棟の建築を望むものであった。しかし、候補地の選定の困難さもあることから、まだ充分に利用

ば、今回の増・改築ではなお、充分とはいえない難いものがある。しかし、大学は、常により良きものをめざしてという観点に基づいて立案の実現を果たそうとしている。物事の進捗は、すべて過程的である。過程の中から、さらにより良きものをめざすことが肝要である。

まな形で人間形成、人格の陶冶に資する上で重要な要件である。なにはともあれ、福利厚生施設の拡張整備の実現をみることでできるに至ったことは、同慶の至りである。

本学の福利厚生施設が、この増・改築を契機に今後一層充実していくために、大学はもとより、その担い手である関西大学生生活協同組合と施主の学校法人ともども、信頼と協調の精神をもとに努力を傾注することを願ってやまない。(文学部教授)

# 施設増・改築に至った経緯について

現在、千里山学舎における第一部学生の福利厚生施設として、誠之館一号館、同南棟内の諸施設のほか、第一学舎食堂、社会学部食堂、法文・経商の学生控室内施設、尚志館内西村食堂など幾多の施設がおかれている。

これらの施設は、従来いづれも必要に応じて保守、改善が加えられてきた。誠之館においては、昭和四十二年に一号館を延長して南棟を増築し、館内設備も度重なる改善を加えてきた。また、第一学舎食堂も昭和五十五年に改修、以後、客席の改善がはかられた。

一方、第一、第二学舎内にある学生控室についても改善をはかる方向で検討がなされ、すでに第二学舎では完成済み、利用されている。

しかし、さらに現時点で他大学の現状等を踏まえて本学の現状を省みるなかで、福利厚生施設の整備充実をはかる論議、検討が行われることとなり、学生部をはじめ関係部局間で調査検討が重ねられた。

この規模の実現をはかることによつて、少なくとも配架書庫は七、八万冊の収納が可能と目され、これによつて学生の修学環境のみならず、広く教育・研究に従事する教員にも便益をもたらすであろうというのが検討された内容

月に完成、これをうけて大学では教学レベルの審議を開始する一方、関西大学生生活協同組合との対応当事者である学校法人が中心となつての非公式調整を始めるなど、昭和五十六年度中の完成をめざして大詰め作業にとりかかった。

教学レベルの審議が進み、学生部原案が大学案として承認される手続がふまれることと併行して、昨五十五年十二月には大学案を関西大学生生活協同組合に正式に提示して、調整段階に入つていった。

学校法人と関西大学生生活協同組合双方の理事長会談によつて十二月十九日に基本的合意が得られたこと、実務者レベルによる具体的な詰めに長時間を要し、ようやく本年六月二十二日にいたつて、学校法人は、別個の法人としての関西大学生生活協同組合との間で、基本

なから出向させる方法をとつてきたが、その後は関西大学生生活協同組合の専従者であつて、組織的には大学と直接の関係はないが、学生、教職員の福利厚生の一環を担うという意味から、学校法人としても、大学が必要と認める施設、設備を無償で貸与し、その維持保全の責任を果たしている。

関西大学生生活協同組合は、現在、食堂(本部、第一学舎、社会学部)、書庫部、購買部、食品部、喫茶部、喫茶コーナー(経商)、パン・ミルクショップ(法文)、および臨時にブレイガイドの各営業を担つているほか、新年度はじめには、教科書販売、新学期の学用品販売などをその責任において行つている。

組織的には独立した別法人であるため、学校法人が交渉の当事者となるが、その業務は学生部厚生課を窓口として処理されている。

食事は座席数よりゆとりを、学生食堂であるが、本学の現状は客席数では見劣りするものではない。しかし、そのゆとりの中で改善をはかる必要性が指摘された。

学生食堂の客席については、とくに依拠する標準というものはないけれども、しいて探すならば、『国立大学における厚生指導に関する基準的な施設・設備』(昭40・2、文部省)がある。これは、国が、国立大学における学生の修学環境の整備のために、全体計画樹立の目標として策定したものであるが、せいぜい学生数四千名規模ていどの大学において参考基準となるものでしかない。

そこで、他に本学と同規模大学の調査を重ねた。その結果、客席数ではなく、そのゆとりの面での改善を行うべきだということになった。また、客席数に応じて厨房も適当な面積を確保しなければならず、その比率は二対一が適当であらうという結論に達した。

現在、大学構内には関西大学生生活協同組合食堂として、本部食堂(誠之館一号館)のほか、第一学舎食堂、社会学部食堂があり、さらに業者食堂として西村食堂が置かれていて、学生の食堂利用は、これらの構内食堂のほか、実際に正門付近を中心とした関大前駅までに点在する飲食店を利用してゐるものと見られるので、客席をゆとりのある方向へ改善することを目指すとすることになったものである。

これらの福利厚生施設として考えられるものには、購買店舗、喫茶、食品店舗、ブレイガイドなどがあるが、購買店舗については書籍店舗とバランスを配慮するほかは、規模においては現状のままよいということになった。

さらに、以上述べたもののほか、現在、第一学舎と第二学舎の中には学生控室がおかれ、その一部に喫茶コーナー、パン・ミルクショップがおかれており、これらも福利厚生施設として総合的にとらえることによつて総規模の策定がはかられていったものである。

# 食品、喫茶等はプランと合わせて

その他の福利厚生施設として考えられるものには、購買店舗、喫茶、食品店舗、ブレイガイドなどがあるが、購買店舗については書籍店舗とバランスを配慮するほかは、規模においては現状のままよいということになった。

さらに、以上述べたもののほか、現在、第一学舎と第二学舎の中には学生控室がおかれ、その一部に喫茶コーナー、パン・ミルクショップがおかれており、これらも福利厚生施設として総合的にとらえることによつて総規模の策定がはかられていったものである。

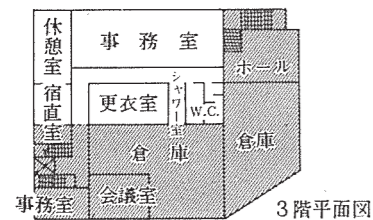
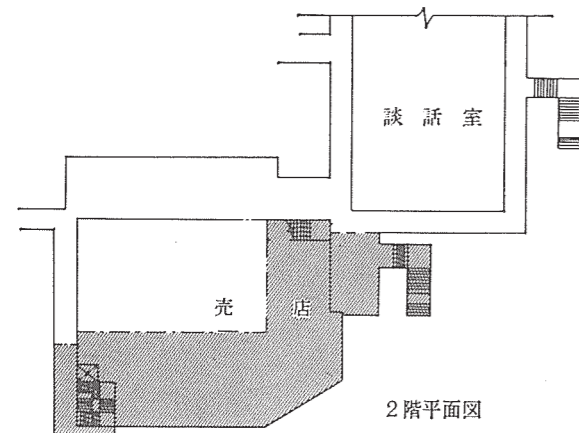
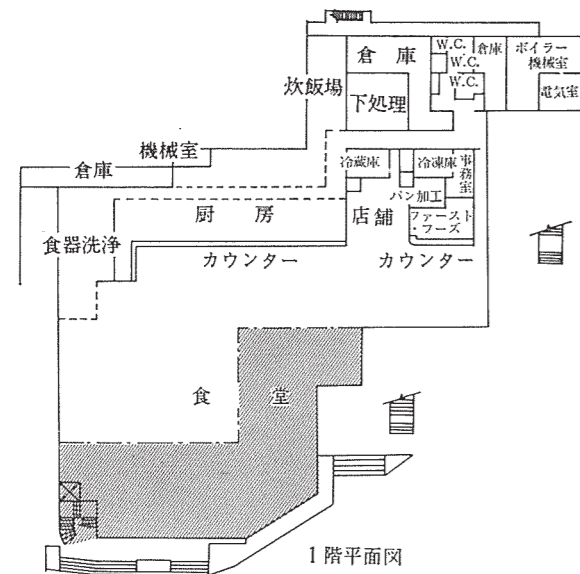
これらの福利厚生施設として考えられるものには、購買店舗、喫茶、食品店舗、ブレイガイドなどがあるが、購買店舗については書籍店舗とバランスを配慮するほかは、規模においては現状のままよいということになった。

さらに、以上述べたもののほか、現在、第一学舎と第二学舎の中には学生控室がおかれ、その一部に喫茶コーナー、パン・ミルクショップがおかれており、これらも福利厚生施設として総合的にとらえることによつて総規模の策定がはかられていったものである。

さらに、以上述べたもののほか、現在、第一学舎と第二学舎の中には学生控室がおかれ、その一部に喫茶コーナー、パン・ミルクショップがおかれており、これらも福利厚生施設として総合的にとらえることによつて総規模の策定がはかられていったものである。



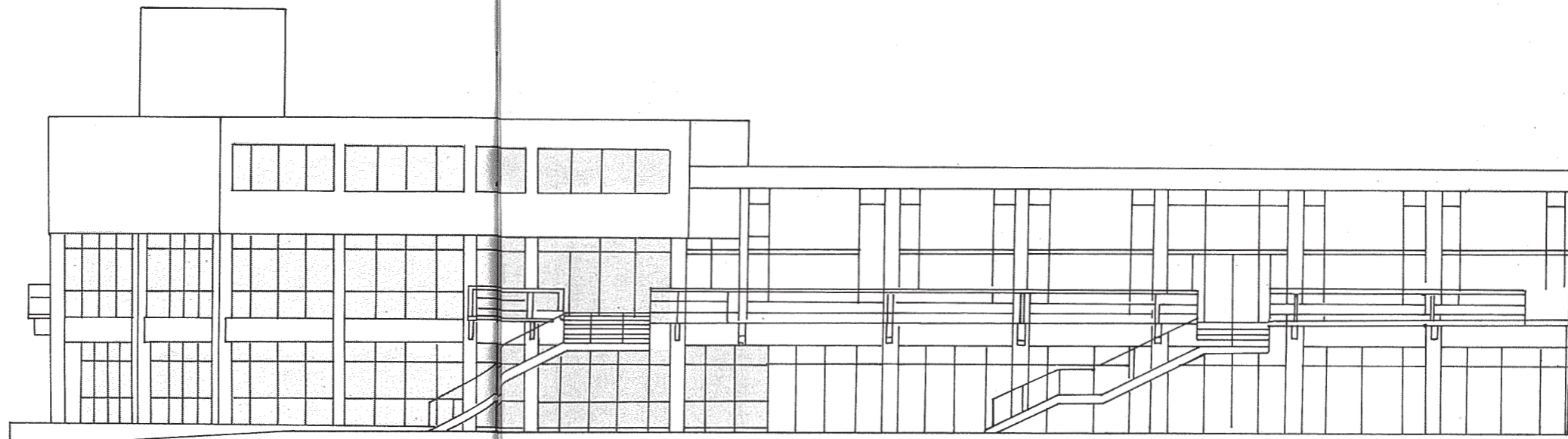
### 各階平面図



■ 増築部分

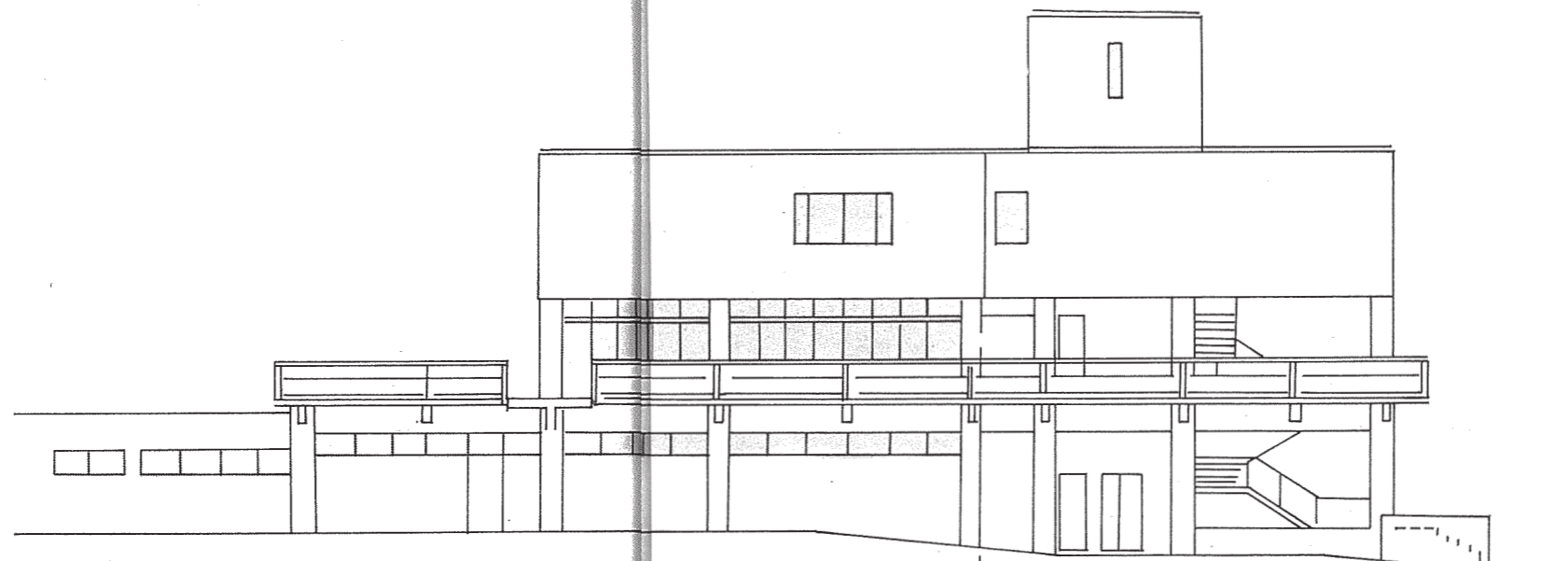
# 誠之館1館(南棟)増・改築図

## 東立面図



誠之館1号館の東側完成立面図。左半分(スクリーン部分)が削れている。  
 1階食堂部は客席が約1400平方メートル、1000席となり、2階約300平方メートル、現状のほぼ3倍の規模となっている。

## 西立面図



改築 ← → 増築

増・改築なった誠之館1号館の西側完成立面図。右1/3が主要増築、南側へ約12メートル拡張されている。



# 拡充整備の具体的

## 内容について

この福利厚生施設の拡充整備計画が実施され、完成するとどうなるであろうか。その概略は、本計画進捗の経緯の中からもみてとれるが、さらに具体的に説明を加えておこう。

### 主要増築部の外観はこうなる

まず、外観からみると、誠之館一、二階南棟の増築部分が中心となる。

現一、二階南棟は昭和四十二年に一号館の南寄りに増築されたものである。これがさらに、道路側の空地へカギ形に増築されるのであるが、一、二階との外観上のバランスも配慮されて建設される予定である。

一階は食堂部が中心となるが、耐震構造上、耐力壁としなければならぬ部分があり、客席にふさわしい明るい構造となるであろう。

道路に面したところに花壇がアクセントとなり、幅の広い階段によるアプローチが作られる。二階への階段は現在とほぼ同じ位置に設けられるが、これを昇った二階は書籍部、購買部の正面になるといった構造である。

現一、二階南棟に増築される部分の接合部の狭さが心配されていたが、増築部分の角を落とし、構造柱に工夫を加えることにより

て難点は解決される。

### 一階食堂部の改善と「ゆとり」

一階は食堂部、食品部の充実にあてられ、まず、当初の目標であった「ゆとり」のある客席の充実が実現する。

現在の本部食堂の客席は一席あたり一平方メートルであるが、これを一・三五平方メートルに近づけようという計画であった。そのために最近に補充した三百三十六席はそのまま使用するが、それ以外の席については六人掛け、または四人掛けのものに取替え更新されることになっており、ゆとりと食事ができる客席が約束されることになる。

第一学舎食堂ではすでに客席の二五割削減を実施して、「ゆとり」を先に実現しており、およそこれと同じような内容に整備されるわけである。

また、厨房についても拡張とともに、調理の流れの改善をはかる方向で、かなり大幅な置きかえ工事が行われる。冷凍庫、冷蔵庫、倉庫、炊飯設備などが、作業効率を高める方向で移設される。

これにより、作業効率が高められるだけでなく、関西大学生協同組合の尽力もあって、学生へのよりよい給食サービスが計画されている。

ところで、大学食堂での学生へのサービスとは、いわゆる客席サービスではない。そこで、利用学生の動線等も研究された上で効率よく整備されるもの、セルフサービスシステムはそのまま残される。利用学生の参加意識と理解が望まれている部分である。

収容客席には従来のテーブル、椅子の一部を活用し、合計千席を確保することになっており、客席内のテーブル間隔や、主として通路となる部分には充分ゆとりがあるものとなる。

食器返還コーナーも一カ所に集中されるほか、食券は自動券売機による発売が考えられており、合理化の方向で整理がなされる。

### 食品販売コーナーの拡充

一方、現在、一階におかれていた食品部は、いまの場所が厨房の一部に変更されるため、その南寄りに移設される。ここでは従来取り扱っていた食品をはじめ、軽食類の提供もできるように改善がはかられる。食品部前の客席は、いわゆるテイクアウト方式を中心とした軽食類のコーナーとしても活用されることとなる。

また、現在は一階食堂の内外周辺、二階談話室などに清涼飲料などの自動販売機が置かれていたが、環境整備のため一階食堂部の東側と西側に集中して設けられることになっている。

### 書籍部は七、八万冊が配架可能

増築される二階には書籍部、購買部がおかれる。

等についてはみ大学で配備し、それ以外は関西大学生協同組合で用意するという方法がとられる。

また、書籍部と購買部はたがいに行き交いよう内部に連絡通路がつくられるとともに、購買部の一部にはスロープ方式の支カカウンターも設けられ、合理化がはかられる予定である。

### 三階倉庫の拡充と多角利用

三階については、まず、関西大学生協同組合の事務室関係が再配置される。併せて、食堂関係職員、休憩室やシャワー室、それに職員室の更衣室も整備される。休憩室については、昼間は宿直室も転用して補うなどの効率的活用も考えられている。

三階にはさらに、大きい倉庫が作られる。これには、従来、倉庫が不足していたために誠之館一、二階周辺が関西大学生協同組合の物置き場同然となり、とりわけ談

話室の機能を阻害していた事態をこの際解消するに充分なものを作る、という狙いも含まれている。

また、この倉庫は、必要に応じて臨時店舗としての使用にもたえるように考えられており、新学期用品臨時店舗にあてられるのをはじめ、従来、「生協市」として年二回開いていた催しも、この部屋で行われることになる。

主として店舗機能が二階、倉庫機能が三階にまとめられるため、増築される南棟の西南角には荷物搬送用のリフトが設けられ、これによって一般商品は現在のドライエリヤ入構路から、一方、食料品類は一、二階東側に設けられる入構路からそれぞれ搬入されることになる。

### 工事中、理解と辛抱を

今行われるこの工事は、なにごとにも支障をきたさないよう進められなければならないのであるが、

工事中には避けられない振動や騒音もあり、学生諸君には少なからずの迷惑がかかるが、完成までの七カ月間、ご辛抱を願いたい。

当初、総規模およそ六千平方メートルの独立棟建設を目標としたことはじめに述べたが、適度な選定の困難と工費が高まる問題以外に、使用にたえうるものを取りこぼし、また別棟を建てるのは避けるべきだという理由も大きかったことは、学生部長の挨拶にあるとおりである。

今回工中の建物が完成すると、誠之館一、二階南棟の中に収まる本部施設を中心に、第一学舎食堂、社会学部食堂、尚志館西村食堂、経商喫茶コーナー、第一学舎パン・ミルクショップを含めて、面積の点で多少の不足はあるもの、おおよそ必要とする総規模を達成できるわけであり、来年度四月以降、学生への便益提供はさらに高められることとなる。

### 学生諸君へ(告示)

千里山学舎福利厚生施設の増改築工事にともない、学生諸君の協力をお願いいたします。

数年来の懸案事項であった千里山学舎福利厚生施設の増改築工事を実施します。工事概要は、八月頃から誠之館一、二階南棟部分(書籍部、購買部等のあるところ)の増改築に取りかかると、本部食堂の厨房工事は、昭和五十七年一月から三月までに重点的に実施することになります。(細目については九月初旬の「関西大学通信」でお知らせします)

この工事にともない、学生諸君に次の点について協力をお願いいたします。

一、誠之館一、二階談話室を生協書籍部、購買部の仮営業所として貸与することについて

今回の工事は書籍部、購買部、本部食堂等をできるだけ営業しながら実施しますので、生協としては書籍部、購買部の仮営業所として一、二階談話室の暫定使用を強く望んでおります。この工事は昭和五十七年三月末を予定しておりますが、その間に南棟部分から始まって、本部厨房部分に及ぶことになり、前記通り一、二階談話室を仮営業所として貸与するとすれば、本年度中同談話室は学生諸君の利用が不可能となります。同談話室は課外活動の場としてかなり活発に利用されており、学生諸君の迷惑は充

ける必要性がでてきたからである。また、教科書販売については、関西大学生協同組合からも教学生面へ種々便宜の供与が要望があり、その解決は目下未知数ではあるが、教科書販売の申し込み、代金納入、品物受け渡しの流れなどが改善される見通しである。新学期はじめの一定時期以外には、このスペースは書籍部の倉庫等としても利用される。また、工学部学生の教科書販売については、いづれ別途配慮される。

### 関連の排水処理設備も着工 休暇中に管路の敷設終わる

大がかりな誠之館一、二階南棟増改築工事に併行して、正門を入った北側空地にすでに七月末以来、排水処理設備の工事が進められている。

この排水処理設備は、「瀬戸内海環境保全特別措置法」ならびに「水質汚濁防止法」に基づき、大阪府条例によって、学内の浄化槽排水を統合したうえ、排水の水質が一定基準値を超えないよう義務づけられているもので、誠之館の工事と関連して、同時に完成しなければならぬものである。

排水処理設備本体は地下構造になるが、すでに夏期休暇中に各施設からの排水を統合するための管路敷設工事は完了している。この排水処理施設に必要な総工事費はおよそ三億円となっている。

### 八月五日、地鎮祭を挙げる

#### 関係者で順調な工事を祈る

誠之館一、二階南棟の増改築工事はすでにご覧のとおり始められているが、これに先だって、さる八月五日午前十一時から建築予定地に於いて、誠之館本部食堂内にしつらえられた祭壇を拝し、地鎮祭が挙行された。

この地鎮祭には、久井学校法人理事長、大西学長、稲野学校法人常務理事、佐々木評議員会議長、榎本校友会会長ら大学関係者、関西大学生協同組合の山村理事長、柴橋専務理事をはじめ、各常務理事、歴代理事長、それに本計画推進に関与した職員に並んで、施工側から株式会社竹中工務店の新子常務ら関係者が列席した。

分理解できますが、千里山学舎の福利厚生施設増改築工事の主旨を理解のうえ協力をお願いいたします。

この暫定使用等については、学生代表組織が機能していない現状に鑑み、大学として告示をもつて学生諸君へお願いする次第です。

二、工事期間中の危険防止について

前にも述べましたとおり、今回の工事は相当長期間に及びますので、施工を休暇期間中だけに限定して実施することは不可能です。

また当該建物は、工事期間中も一時を除いて生協には営業して貰いますので、危険防止に充分留意して下さい。

昭和五十六年六月二十三日  
関西大学

購買部の床面積も拡張されるが、この中へは、現在誠之館一、二階で暫定的にその営業を認めているプレイガイド部やコピーサービスコーナーも、二、三階に分けて吸収される。

購買部で扱う商品の種類には際限がない側面もあり、常に学生のニーズに対応するにはおのずと限界がある。そこで、購買部については、学用品商品棚に見合う設備

が、この中へは、現在誠之館一、二階で暫定的にその営業を認めているプレイガイド部やコピーサービスコーナーも、二、三階に分けて吸収される。

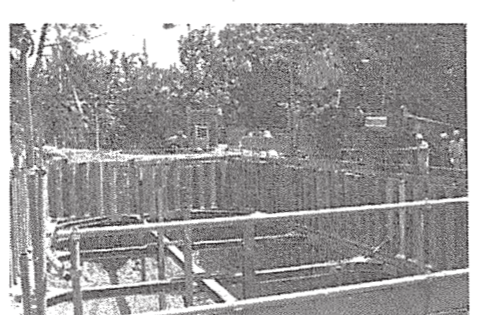
購買部で扱う商品の種類には際限がない側面もあり、常に学生のニーズに対応するにはおのずと限界がある。そこで、購買部については、学用品商品棚に見合う設備

施設	面積(m <sup>2</sup> )	現 状		規 模	
		使 途	使 途	使 途	使 途
誠之館南棟	3 F	280.64	事務室、更衣室等	合 計	345.60
		64.96	廊下、階段、便所		
	2 F	108.48	書籍部、店舗	合 計	345.60
		29.76	倉庫		
		175.93	購買部、店舗		
		25.80	倉庫		
	(345.60)	三階昇降口	合 計	345.60	
		486.73	厨房	1号館	1 F
	118.77	(機械室等)			
	39.35	(休憩室)			
932.00	客席ホール 920席				
140.63	食券売場 寄りつき				
(1,717.48)	(小 計)				
183.03	食品部				
85.58	便所、電気室等				
(1,986.09)	合 計				
(2,677.29)	(3 F+2 F+1 F)				
185.84	喫茶部	2 F	フレイガイド室		
(注)	談話室				
	(940m <sup>2</sup> のスペースのうち)				
	2,863.13	本部施設合計			
第一学舎	450.45	第一学舎食堂 228席			
第三学舎	352.96	社会学部食堂 240席			
尚志館	367.49	西村食堂 256席			
合 計	4,034.03m <sup>2</sup>				

注) このなかには第一学舎パン・ミルクショップ、経商喫茶コーナー、ならびに暫定使用中のプレイガイド部の面積は割愛した。



工事の無事と順調な進捗を祈念して行われた地鎮祭



正門を入った北側空地に進められている排水処理設備の工事現場



# 工事期間中の 臨時代替措置について

大学の福利厚生施設の拡充整備を目的として行われる誠之館一館の増・改築工事は、本特集号で説明されている通り、かなり大がかりな工事であり、夏期休業中からすでに関連工事が進められている。この工事期間中の臨時代替措置についてはすでに随所に述べられてはいるが、ここでまとめてもう一度説明し、学生諸君の不便を最小限にとどめる一助としたい。

## 本部食堂

現在、九百二十席を有する本部

食堂は、南棟増築のために一部分使用が制限されるが、食堂の営業自体は十二月十九日まで続けられる。もちろん第一学舎食堂、社会学部食堂は平常どおり営業されるので、比較的空いている第一学舎食堂等を利用して不便をしのいで貰いたい。

## 食品部

いま食品部がおかれているところは本部食堂厨房の一部に改造されて、食料倉庫、冷凍庫、冷蔵

# 談話室の復元について

誠之館一館二階談話室は、従来から学生諸君の憩い・談話の場として用意されてきたものである。

このフロア全体をほぼ「田」の字に四分すると、その一区画は関西大学生協同組合の喫茶部である。それ以外のスペースは学生の社交、憩い、談話の場として確保され、手続を経て許可されれば課外活動の発表の場としても使われるようになっていた。そのため、とくにクラブ活動の成果を一般に問う展覧

展示など、行事シーズンには申込みが多く、マネージャー同士の自主的な話し合いを通じて調整をはかり、需要をまかなってきた。このように、使用の要望がそれぞれ各クラブの間で多いとい

う実状があるところへ、さらに関西大学生協同組合が年二回(春、秋)組合員のために「生協市」なる特別セールを催すために、それぞれに対して一週間を限度に使用を認めてきたという経緯がある。これは、課外活動での使用申込みが多い現状ではあるが、なおかつ関西大学生協同組合の行う催しが多くの学生に経済的なメリットをもたらすであろうとの判断に立つ措置だったのである。

今回のこの拡充整備計画では、増・改築の部分へかなりのスペースをもつ倉庫機能を見込むことになっているし、さらに、南棟三階の倉庫の一部には、臨時の催し物も随時開催できるように内装工事が施されることになっている。これによって談話室の現状にみられる問題を解消し、当初の、本来の目的にそった機能回復をはかって、学生の利用に供しようという見込みである。

この復元整備計画は、本増・改築工事が完了して、現在の臨時店舗が撤収される来年三月末以降、実施されることになる。整備されるのは昭和五十七年度にわたることとなる。

ることになる。そこで、工期中、厨房工事にかる十二月二十日から来年三月末までは閉鎖される。第二学舎の学生控室内、パン・ミルクショップは、学生控室の改装工事に際してすでに喫茶コーナーとして整備されているので、こちらの方を利用するのも一法であろう。

## 自動販売機の配置がえ

現在、関西大学生協同組合の手により、誠之館一館周辺には多数の自動販売機がおかれているが、本工事に支障があつて、すでに臨時設置場所へ移されている。臨時の設置場所は誠之館一館東側の回廊部、および正門から少し

入ったグラウンド下方で、これも臨時に仮設してある関西大学生協同組合事務室の壁面沿いに集められている。

## 書籍部、購買部

この工事のため、書籍部、購買部の店舗は、誠之館一館二階談話室へ臨時に移設されている。書籍部、購買部は日常的に学生の利用度もかなり高いことが考慮され、然るべき手続きを経てこの措置がとられることになった。

現在、二階にはブレイガイドやコピーサービスなどもおかれているが、これらをも含めて、二階全域にわたって、一般通路の妨げにならないよう臨時店舗がおかれることになったものである。

## 室など

事務室は従来、南棟三階に、会議室、宿直室、更衣室、組織部室等とともに設けられていたが、これらはまとめて目下臨時プレハブに収容されている。正門から少し入った、第一グラウンド下にすでに建てられているプレハブがそれで、隣接した別棟が更衣室、組織部室となっている。

## 倉庫について

誠之館一館南棟の第一グラウンド側テント部を臨時にあてること

となつている。臨時駐車場について

大学構内の自動車の入構は、「学内交通規制」によって規制されているが、関西大学生協同組合の所有する営業用車輛については、商品運搬等の必要から、従来より入構を認めてきた。ところが、大学の指定したその駐車場所が増、改築部分の敷地になつてしまつたため、駐車場所がなくなることになる。

そのための臨時措置として臨時駐車場を指定したが、その場所は、臨時措置として設置した関西大学生協同組合事務室(プレハブ)の周辺、ならびに専門図書館北側道路の一部で、すでに標識と標示が設けられている。

工 程 予 定 表

項目	月	56/9	10	11	12	57/1	2	3	4
建築工事	基礎	基礎工事							(新装再開)
	1 F					解体工事	改造工事		(移転準備・試運転)
	2 3 F			躯体工事		仕上工事	検収、手直し、外構工事等		
営業備考	臨時営業	臨時営業(書籍部、購買部)					本部食堂休業		
	騒音	騒音	工事用壁設置						
学年	前期試験	前期試験(学園祭行事予定)				休業	後期入試	休業	休業

学生諸君が構内を通行するうえで若干の支障があるが、この臨時措置についても理解を求めておきたい。

これまでに述べてきたような種々の臨時措置は、大学の限られた財政事情の中にあつて、できるだけ効率よく拡充整備を進めるために、多少の無理をしても無駄な経費を抑えて、その分を恒常施設の建築に充てようという、きびしい判断によるもので、学生の福利厚生の一翼を担う関西大学生協同組合の理解と協力があつたために可能となつたことであるが、あわせて学生諸君の深い理解を必要とするものでもある。

## ▼編集後記▲

『関西大学通信』第一二二号の発刊を間近に控えながら、敢てここに「通信」の特集号を編んだ。本学における福利厚生施設が、かねて各方面から寄せられていた要望と関係各位の尽力により、目下拡充整備されつつある。この大がかりな工事に至る経緯ならびに完工時の改善内容について、本学の学生、教職員の方々に一刻なりとも早く、大学の立場から情報の提供を図り、来春までの不便にお互い心ある理解を寄せ合いたいものと願つての発刊である。

紙面の性格上、もっぱら学生部が本特集号編集の任に当たつたが、企画・執筆等に際しては、職務上、当該の情報に明るい他の関係部局にも負うところ大である。特集号が所期の目的を充分達してくれるよう願つて止まない。

(中島)